

【幼稚園・保育園・保育所】
【小学校・中学校・高等学校】

■特集1

「新型インフルエンザが重症化するの、どんな子ども？」
現場の先生とドクターによる
いろいろな情報を紹介します！
—— 掲示物・ほけんだより案・Q&Aなど

■特集2

多様化する子どもたちの「こころ」の問題に
真っ正面から向き合うために……
—— 「健康相談活動」の進め方と他職員との連携



1月の保健指導 ●データ活用

保健室のデータを最大限に生かす

～来室状況データから健康相談へ～

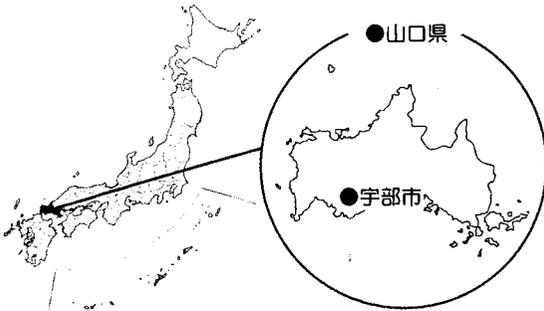


●向かって右から4人目が筆者

●山口県 宇部市立神原中学校
藤本 美砂子

筆者連絡先 ●

〒755-0039 山口県宇部市東梶返4-8-1
宇部市立神原中学校



●ゆっくりと生徒の話を聞ける雰囲気——●

本州の西端に位置する山口県。その南西部にある宇部市は炭鉱の町として栄えました。閉山後は環境共生都市としての町づくりをめざし、今では「緑と花と彫刻のまち」として知られています。

本校は市内の中心地にあるものの、近年のドーナツ化現象により生徒数はそれほど多くはなく、全校200名余りの中規模校です。生徒たちは明るくて人なつこく、元気よくあいさつができます。しかし、人の気持ちを察したりすることが苦手で、配慮の足りない発言によるトラブルも少なくありません。

そのため、生徒が腹を立てたり、泣いたりして来室することもよくあります。落ち着いた雰囲気の学校なので、保健室では養護教諭がゆっくりと時間をかけて話を聞くことができる環境です。生徒は心の内を聞いてもらい、自分なりの答えを見

つけ、ほんの少しだけ元気を取り戻し、教室へ戻っていきます。

●『SDB保健室統計業務支援システム』のはじまり——●

今から17年前、当時の勤務校は1,000名を超える生徒で、1日の保健室来室者は平均40名以上にもなっていました。そのため、ゆっくり生徒に向き合える余裕もないまま、ただ1日があわただしく過ぎていくという毎日でした。

放課後になれば、保健日誌を書くのもたいへんな作業で、少し詳しく生徒とのやり取りを記録しておこうものなら、夕刻遅くまで、あるいは翌日の作業となり、仕事はどんどんたまる一方でした。生徒に向き合い、じっくり話を聞くなんで時間は、ほとんどとれませんでした。

「何とかこの作業を軽減し、生徒にしっかりと向き合える時間を確保したい!」という思いから、パソコンソフト『SDB保健室統計業務支援シス

テム』（SDB=School Data Base）を同僚の教員と一緒に開発しました。

当時すでに、健康診断の事務処理の効率化をねらいとするパソコンソフトが多く販売されていました。

しかし私が欲しかったのは、生徒が来室したときの様子をデータ化するなど、生徒や学校全体の健康状態を客観的に分析し、その後の生徒への保健指導に生かすことのできるソフトでした。

そうして完成したSDB保健室統計業務支援システムは、今日までバージョンアップを重ね、健康相談記録を加えて、より使いやすく、より活用しやすいものへと形を変えてきました。今では、山口県内で140名を超える養護教諭がこのソフトを活用しています。

今回は、そのシステムの一部と、活用方法などを紹介します。

●生徒自身が自分の体を知る資料として

生徒が自分の生活を振り返るツールに

保健室を利用した時刻（授業中であればその教科名）のほか、病気のときの朝食や排便の有無、体温などは、生徒の状態を知る貴重なデータです。

これらのデータを見ていくと、生徒の来室が多いのは、何をしている時間か、何の教科か、朝食を食べない生徒や朝の排便をしない生徒がどのくらいいるかなどと、全校（あるいは学年）の傾向

も分かります。これは学校保健委員会の資料としても使えます。

また、1人の生徒に絞って検索をすると、さらにその傾向が顕著に現れてきます。そうして、その生徒の健康行動のパターンが分かることで、保健指導の内容に焦点が絞られてきます。

生徒自身も、自分の体調が悪いことは分かっている、「なぜそうなるのか」という原因については、深く考える機会もないまま、毎日を過ごしているという場合も少なくありません。

そんな生徒が自分自身の生活を振り返り、体調を良くするための手だてを保健室で一緒に考えていくことができます。そのときに保健室のデータベースが役立ちます（資料1参照）。

指導が“押し付け”にならない

およそ1カ月に1回のペースで、腹痛を訴えて来室するA君がいました。A君は、朝食を食べたり食べなかったりで、朝の排便もほとんどない生徒でした。

あるとき、来室時の様子をまとめたデータと一緒に見ながら振り返りをしてみると「僕、朝食を抜いている日がこんなにも多いのか……先生、これって僕だけ？」と、あらためて不規則な食事を反省する機会となり、食事と排便の保健指導に耳を傾けることができるようになりました。

生活を改善しようとする意識を、ただ押し付けるだけではなく、生徒自身が気づくことの助として、保健室のデータが生きたのです。

保健室来室状況-内科			2009/04/08~2009/10/15			37人×15日 表示									
ID	加号	年組	番	氏名	来室日	曜	来室時刻	退室時刻	訴えの発生時	詳細	主たる訴え	朝食	便通	体温	処置
1	40118			6-1	2009/4/30	木	10:35		授業中	保健体育	腹痛	いつも食べない	朝はいつもしない	36.1	保健室で休養
2	50123			6-1	2009/5/19	火	9:45		授業中	保健体育	下痢	いつも食べない	便秘がなかった	36.3	保健室で休養
3	60073			6-1	2009/6/8	月	13:25	13:30	昼休み		かせぎみ			36.9	教室で観察
4	60107			6-1	2009/6/11	木	9:50	10:00	授業中	美術	腹痛	欲しくない	今朝はしなかった	36.6	教室で観察
5	70029			6-1	2009/7/3	金	10:35	11:25	授業中	英語	腹痛	いつも食べない	下痢便	36.7	保健室で休養
6	90103			6-1	2009/9/8	火	11:45	12:20	授業中	保健体育	気分不良	食べた	普通便	36.6	保健室で休養
7	90257			6-1	2009/9/18	金	9:45	10:40	授業中	社会	腹痛	食べた	便秘がなかった	36.9	保健室で休養
8	90336			6-1	2009/9/29	火	9:40	10:45	授業中	保健体育	気分不良	食べた	下痢便	37.4	保健室で休養
9	90337			6-1	2009/9/29	火	13:20	14:10	昼休み		気分不良			37.5	早退
10	100153			6-1	2009/10/15	木	10:30	11:25	授業中	保健体育	腹痛	食べた	今朝はしなかった	36.7	保健室で休養

●学級担任やスクールカウンセラー、
保護者との共通理解のために

頻繁に体調不良を訴えて来室を繰り返すB子は、保健室で様子を聞く中で、習い事でのトラブルや受験勉強の不安などを少しずつ話すようになってきました。

毎回、B子の様子や訴えを保健日誌に記録していたので、それが本人が変化していく様子のデータとして蓄積されていきました。このデータは、学級担任やスクールカウンセラーとの共通理解資料として、また保護者との面談や学校での様子を、かかりつけ医師へ情報提供するための資料として活用しています(資料2参照)。

1学期末の懇談会で、B子と母親、養護教諭の3人で来室時の様子を振り返りながら話をしてい

くと、母親が今まで気づいていなかったB子の様子を知ってもらえました。そのおかげで、「学校と家庭が歩調を合わせてB子に接していく」という共通理解ができました。

●感染症流行の
早期発見、早期対応に

インフルエンザ等の予防に有効活用

本校では毎日、健康観察簿や担任からの情報を得て、生徒の欠席やその理由、体調不良の生徒のデータ管理をしています。

学校では、インフルエンザ等の感染症予防対策の1つとして、流行の早期発見がありますが、学年や学校という集団のデータを見ることによって、感染症の増え始めをいち早くキャッチできます。

資料2

保健室利用状況のお知らせ						平成20年(2008年)10月20日 宇部市立神原中学校	
ID	日時(日付・曜日・時間)	主訴	発生時	処置	(体温/朝食/..部位..他) 原因及び備考		
取り扱い注意							
氏名							
1	2009/03/02 月 9:45	吐き気	授業中	保健室で休	36.1/食べた//保健体育		
2	2009/03/02 月 13:00	気分不良	昼休み	保健室で休	話をしながら過ごす。		
3	2009/03/02 月 14:05	吐き気	授業中	保健室で休	36.8/技術		
4	2009/03/02 月 14:50	気分不良	授業中	保健室で休	/家庭科/歩いて帰れないと言うので母親が迎えに来る。		
5	2009/03/03 火 8:55	その他	授業中	保健室で休	保健体育のテストについて担任から話を聞いた後、不安定になり来室。授業中は授業のことを最優先にしようと話す。/英語		
6	2009/03/03 火 13:15	気分不良	昼休み	保健室で休	さんと話をして過ごす。		
7	2009/03/09 月 14:50	気分不良	授業中	保健室で休	口の中に血のような味がして気持ち悪いと言う。「消えてしまいたい。死にたいと思うことがある。」と言う。スクールカウンセラーと話す。学校に来たり、授業に参加すれば勉強がもっとできるよという母親からの要求が強くなる。だから、体調が良くなることは都合が悪いと思っている。良くなれない方を望んでいる。家族から学校に来ていること、授業に出ることを頑張っていることと認められるよのだが。/数学		
8	2009/03/09 月 10:45	気分不良	休憩時	教室で観察	36.4/食べた/便意がなかった		
9	2009/03/09 月 11:25	気分不良	授業中	保健室で休	作品を仕上げた再来室/技術		
10	2009/03/11 水 10:00	気分不良	その他	早退	36.5/息苦しい。体が重い。		
11	2009/03/13 金 9:10	吐き気	授業中	教室で観察	36.7/食べた//英語/なるべく授業に参加しようと促し教室へ連れていく。		
12	2009/03/13 金 10:55	吐き気	授業中	教室で観察	社会/あてられても答えられないと思うと気分が悪くなるという		
利用状況							

